

# 申告書記載例

(マイナンバー) 個人番号又は法人番号を記載してください。

所有者の住所・氏名・電話を必ず記載してください。  
※法人の場合は代表者職氏名を記載してください。

個人の場合は、事業を開始した年月、法人の場合は設立年月を記載してください。

令和 7 年度  
償却資産申告書 (償却資産課税台帳)

受付印 (あて先) 宝塚市長

住所: 665-6632-8665 逆瀬川一丁目一番一号 (電話 XXXX-XX-XXXX)

氏名: 株式会社 東洋ペカリース 代表取締役 宝塚太郎 (電話 XXXX-XX-XXXX)

事業開始年月: 平成 15 年 4 月

この申告に  
担当者: 経理課 甲野二郎 (電話 XXXX-XX-XXXX)

7 税理士等の  
氏名: 東一郎 (電話 XXXX-XX-XXXX)

当初入力No. 通知書番号 123456

8 短縮耐用年数の承認 有・無  
9 増加償却の届出 有・無  
10 非課税該当資産 有・無  
11 課税標準の特例 有・無  
12 特別償却又は圧縮記帳 有・無  
13 税務会計上の償却方法 (定率) (定額法)  
14 青色申告 有・無  
15 申告税務署の名称 西宮 税務署

⑧～⑪で有の場合は、下記の書類を提出してください。  
⑧ 国税局長からの承認通知書  
⑨ 税務署長への届出書  
⑩ 非課税適用申請書  
⑪ 課税標準の特例適用申請書

申告している税務署の名称をこちらに記載してください。

資産の種類	取得価額				償却額				合計	
	前年前に取得したもの (イ)		前年中に減少したもの (ロ)		前年中に取得したもの (ハ)		(イ)-(ロ)+(ハ)=(ニ)			
1 構築物	5	100	000	100	000	300	000	5	300	000
2 機械及び装置	6	500	000					6	500	000
3 船舶										
4 航空機										
5 車両及び運搬具										
6 工具、器具及び備品	1	900	000	300	000	485	000	2	085	000
7 合計	13	500	000	400	000	785	000	13	885	000

16 宝塚市内における事業所等資産の所在地 (および家屋の所有区分)

① 東洋町一丁目番一号  
自己所有 (借家) (所有者名: )

② 逆瀬川一丁目番一号  
自己所有 (借家) (所有者名: 株式会社 西洋)

③

自己所有・借家 (所有者名: )

17 借用資産 (リース資産) リース会社等 資産名  
寿リース株式会社 菓子製造設備

18 前年度より資産の増減 有・無

事業所等の資産の所在地を記載してください。  
また、事業所用家屋の所有区分について、該当するほうを○で囲んでください。

借用 (リース) 資産がある場合には、その資産の名称、貸主の名称等をこちらに記載してください。

資産を所有している方は、上記の資産の種類 (1～7) の「取得価額 (イ)」に記載してください。  
資産に増減のある方は、「合計 (イ)-(ロ)+(ハ)=(ニ)」も記載してください。

資産の種類	評価額 (ホ) ※				決定価格 (ヘ) ※				課税標準額 (ト)			
	十億	百万	千	円	十億	百万	千	円	十億	百万	千	円
1 構築物												
2 機械及び装置												
3 船舶												
4 航空機												
5 車両及び運搬具												
6 工具、器具及び備品												
7 合計												

電算申告を行う場合は、(ホ)～(ト)の欄まで必ず記載してください。

19 償却資産の該当なし

20 異動事項  
〔異動日: 6 年 7 月 1 日〕  
該当項目を○で囲んでください。  
ア. 廃業  
イ. 市外転出  
ウ. 休業  
エ. 住所 (送付先) の変更  
オ. 氏名 (名称) の変更  
(新設法人・相続人及び合併先等)

21 備考 (添付書類等)

宛名 7654321 宝塚市

申告する償却資産が無い場合は、こちらを○で囲んでください。

前年度より変更等がある場合、その他申告について参考となる事項等があれば、こちらに記載してください。

取得価額	前年前に取得したもの (イ)	前年中に減少したもの (ロ)	前年中に取得したもの (ハ)	今年度の申告による全資産の合計取得価額 (ニ)
取得価額	前年前に取得したもの	前年中に減少したもの (申告漏れも含む) の取得価額を資産の種類別に記載してください。	前年中に取得した資産 (申告漏れも含む) の取得価額を資産の種類別に記載してください。	(イ) - (ロ) + (ハ) の合計を、それぞれ資産の種類別に記載してください。

〈電算申告とは〉  
電算機によって全資産について評価額を計算し、取得価額・取得年月・耐用年数とともに出力して申告する方法のことをいいます。  
必ず、全資産の明細書を添付してください。

# 増加した資産の記載例

(初めての方は、全資産について記載してください)

取得した年月を記載してください。  
 年号については、あらかじめ令和を表す「5」を印刷しています。  
 平成の場合は上から「4」と記載してください。  
 (「平」「H」などの文字は使わないでください)

取得価額(税抜・税込は税務署申告に合わせてください)および  
 法定耐用年数(「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」に  
 基づく)を記載してください。

令和 7 年度

## 種類別明細書(増加資産・全資産用)

(通知書番号 123456 )

- <資産の種類>
- 1-構築物
  - 2-機械及び装置
  - 3-船舶
  - 4-航空機
  - 5-車両及び運搬具
  - 6-工具、器具及び備品
- で、対応する数字を記載してください。

※当初入力No.		宛名番号		所有者名		枚のうち					
		7654321		(株)東洋ベーカリーズ		1枚					
行番号	資産の種類	資産の名称等	数量	取得年月		取得価額	耐用年数	増加事由	※課税標準の例		摘要 (4その他の場合はその詳細等も記載してください)
				年号	年月				率	コード	
1	01	1 日よけテント	1	5	6/7	300,000	8	①・2 ③・4			買い替え
1	02	6 冷凍庫	1	5	5/7	200,000	6	①・2 ③・4			申告漏れ
1	03	6 フライヤー	2	5	6/10	235,000	7	①・2 ③・4			
1	04	6 冷蔵陳列ケース	1	4	29/10	250,000	6	①・2 ③・4			神戸店より
1	05			5				①・2 ③・4			
1	06			5				①・2 ③・4			
1	07			5				①・2 ③・4			
1	08			5				①・2 ③・4			
1	09	該当資産の名称、規格等を記載してください。		5				①・2 ③・4			
1	10			5				①・2 ③・4			
1	11			5				①・2 ③・4			
1	12			5				①・2 ③・4			
1	13			5				①・2 ③・4			
1	14			5				①・2 ③・4			
1	15			5				①・2 ③・4			
1	16			5				①・2 ③・4			
1	17			5				①・2 ③・4			
1	18			5				①・2 ③・4			
1	19			5				①・2 ③・4			
1	20			5				①・2 ③・4			
小計			5			985,000					

資産の増加事由について、次のいずれかを○で囲んでください。  
 1-新品取得  
 2-中古品取得  
 3-移動による受入れ  
 4-その他⇒「申告漏れ」等の事由を摘要欄に記載してください。

注意1. 「増加事由」の欄は、1新品取得、2中古品取得、3移動による受入れ、4その他のいずれかに○印を付けてください。  
 2. 「取得年月」の欄の年号については、4平成、5令和とし、それぞれの年号に対応する数字を記入してください。

# 減少した資産の記載例

前年度までに申告いただいた内容により作成しております。  
 (電算申告の方、今年初めて申告される方には送付していません。)

**A 減少した資産がある場合は、取り消し線を引き、摘要欄に理由を記載してください。**

また、この用紙にかえて種類別明細書(減少資産用)を提出いただいても結構です。

**B 印字している内容に変更(一部減少等)がある場合は、取り消し線を引き、余白に正しい内容を記載してください。**

通知書番号 123456

No. 1

当初 No.		宛名番号		令和7年度				所有者名		1枚のうち				
		7654321		償却資産種類別明細書				株式会社東洋ベーカリーズ		1枚目				
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月	取得価額	耐用年数	減価残存率	価額	※課税標準の特例		※課税標準額	増加事由	摘要
										率	期限年			
1	1	1	テナイソウイッキ	1	H15.4	5,000,000	10						1・2 3・4	
2	1	2	<del>セコケテント</del>	1	<del>H16.7</del>	<del>100,000</del>	<del>8</del>							
3	2	3	パンセイゾウセツビ	1	H15.4	5,000,000	9							
4	2	4	パンセイゾウセツビ(カイヨウビ)	1	H20.10	1,500,000	9						1・2 3・4	
5	6	5	レイゾウチンレッツケース	<del>4</del> 5	H15.4	<del>1,200,000</del> 1,500,000	6						1・2 3・4	
6	6	6	クーラー	1	H15.4	200,000	6						1・2 3・4	
7													1・2 3・4	
8													1・2 3・4	
9													1・2 3・4	
10													1・2 3・4	
11													1・2 3・4	
12													1・2 3・4	
13													1・2 3・4	
14													1・2 3・4	
15													1・2 3・4	
16													1・2 3・4	
17													1・2 3・4	
18													1・2 3・4	
小計													1・2 3・4	

**A 減少した資産がある場合、  
資産の名称等以下を消してください。**

**B 資産の一部が減少した場合は、  
取り消し線を引き、余白に減少後の内容  
(数量・取得価額等)を記載してください。**

**摘要欄の書き方について**

- ①全部減少の場合**  
減少事由を記載してください。  
(例 売却・廃棄・移動・その他)
- ②一部減少の場合**  
減少数量と減少事由を記載してください。  
(例 減少〇年〇月 2台 廃棄)
- ③前年以前から減少していた資産の場合**  
「申告漏れ・減少年月」を記載してください。  
(例 申告漏れ 令和〇年〇月 除却)
- ④その他変更理由等あれば記載してください。**

第二十六号様式別表一